

テーマ「魅力ある子ども会活動とその役割」

班員 進行・発表：栃木県・矢後紀夫 書記：群馬県・松井翔吾 静岡県・喜瀬川康博
新潟県・小関茂幸 千葉県・増田利明 山梨県・望月孝之（1日目のみ）

1日目

前回の協議内容の確認をした上で、その内容を2つに分類した。

動物将棋・ドッジボールの大会を市町村・地区・県単位で行う→提案型の活動

子どもを集めて、やりたいことを話し合わせて決めさせる・地域の特性を生かす・

チラシ等 PR 方法・子ども会の運営方法等のマニュアル化→自発型の活動

◎提案型の活動

○動物将棋

県大会は1日で終わる日程で考えていく

1試合は約5～10分、低学年と高学年の部に分ける

人数は400人程度、内訳：10人（低5人+高5人）×40市町村

県により市町村数などが上下するので臨機応変に対応する、市町村大会から県大会ではなく間に地区大会を挟む等

実際に購入するとなると盤込みで2,000円～3,000円、県大会は必要数揃えるが、市町村大会や各単位子ども会でやる際は手作りしたもので対応してもらう

絵柄は、ひよこ、にわとり、キリン、ゾウ、ライオンに固定する

規格を揃えておく、マスは4×3マス、マスが5cm角、コマが4cm角

ルールブックはインターネットからダウンロードできる

○ドッジボール

使うボールはソフトドッジボール1号球（円周57～59cm）約1,500円

コートは右図参照

県大会は1日で終わる日程で考えて

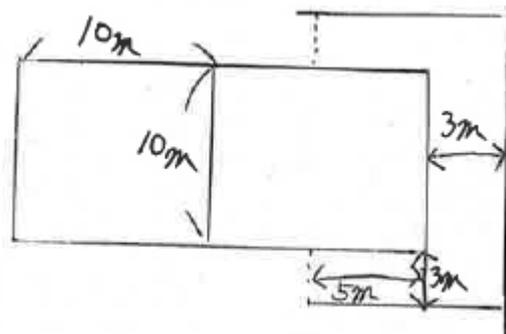
トーナメントで行う

1チーム7名以上10名以内

1年生から6年生の混合で1チームの学年合計が人数×3.5人になるようにする

スポーツ協会等のルールを基本に子ども会独自のルールを採用する

1,2年生には背中に両面テープで紙風船を付けて、破れたらアウトにする（実際に静岡市で採用



している)

1,2年生が3年生以上をアウトにしたら、自陣の外野から1人復活できる
首から上はノーカウント

勝利条件はセットごと(1セット5分×2回)の内野の数の合計が多い方
同数であればサドンデスを行う

サドンデスは先に1人当てたチームの勝利、ボールは2セット目終了時に
保持していたチームから開始

審判は市町村大会や地区大会のときの審判にお願いします。

◎自発型の活動

静岡市の活動がすばらしかったため、その話を軸に話し合いになった

○子どもを集めて、やりたいことを話し合わせて決める

子どもに何をやりたいか考えさせ、それに大人が積極的に動く

静岡：2月に単位子ども会長(5年生の子ども)を集めて話し合いをさせる

否定はさせずいろいろな意見を出させ、予算や日程等の都合と照らし合わせ
ていき、残った行事を実際に来年度実行に移している。

○地域の特性を生かす

静岡：地引網を行っている。(これも上記と同様に子ども達の中で話し合わせて出た
ものを大人が引き上げている)

○PR方法

静岡：チラシを毎月刷って子ども会活動の内容や今後の予定等を細かく記載し

子ども会以外にも広い範囲で配布しいろんな人々の目に付くようにする

静岡の場合、印刷屋が子ども会に居たため印刷費が安く済んでいるので、実際のところ
は

もう少し部数を減らすか、配布範囲を狭くするか、カラー刷りではなく白黒で等対策が
必要である。

また、ホームページ等で事業の宣伝をし、ボランティア等を募集するのもあり

○マニュアル化

これも静岡市の運営を参考にして大まかな流れを記載

- ・2月に校区や地区ごとに子ども会会長会議を行う。5年生(来年度6年生)約10名
子ども達にやりたい行事等を提案してもらう。単子でできない行事等は市子連が拾い
上げて実現できるものは実現する。
- ・4月に役員講習会を行う。新しい役員に対して、子ども会とは、どういう行事を行うか
等を説明する。
- ・各行事を行う
- ・来年度の5月に総会(委員会)で報告

60 歳以上の特殊な技能を持った人たちを名簿にまとめておいていろいろな行事を手伝ってもらおう。(静岡：スーパーシニア 山梨：寿マスター)

ここで一度休憩を挟み中間発表。模造紙がまとめ切れていなかったため口頭での発表

2 日目

1 日目を軽く振り返り、詰め切れていなかった予算等の部分を決めて模造紙のまとめに入った。

◎提案型の活動

○動物将棋

収入 会費：500 円×400 人=20 万円

支出 将棋（盤・コマ）3,000 円×20 個=6 万円 参加賞（例、名入れ鉛筆）4 万
楯賞状等 2 万 合計 12 万円（初期投資も含む）

開催時期は平成 32 年 3 月を目指す

○ドッジボール

収入 会費：3,000 円×40 チーム=12 万円

支出 ボール 1,500 円×20 個=3 万円 ゼッケン 20 万円 備品雑費 3 万円
通信・啓発費、賞状等 6 万 その他含め合計 40 万円（初期投資も含む）

開催時期は平成 31 年 10 月頃を目指す

◎自発型の活動

1 日目にまとめたものをさらに深く話し合う予定でいたが、上記の提案型の活動をまとめた時点で時間が不足しまとめきれなかった。来年度以降に機会があれば、この議題で話を進めていきたい。

☆全体会

最後の全体会の中で発表した際に、「平成 31 年度に県大会を目指すのは早すぎるのではないか。その前に各地区、各市町村に普及し、周知を図り、十分に浸透した上で県大会を行うのがいいのではないか。」という意見が上がった。それも含め、会長会議に提言するという事でまとまった。

3班「魅力ある子ども会 活動とその役割」

◎ 提案型の活動

- 重カ物将棋 開催予定: 平成32年3月
- 市町村子連大会から県大会へ (約400人)
5+5×400名村
- 県大会予算 参加費 1人 500円 × 400人 = 20万円
経費 12万 (将棋盤 参加費 表彰品等)
- 平成30年からPR 活動力を行う 実行委員会の成立

- ドッジボール 開催予定: 平成31年10月
- 市町村子連大会から地区大会 県大会へ
(40+4×10)

- 子ども会独自のルールを設定
- 県大会予算 参加費 1チーム 3000円 × 40+4 = 12万円
経費 40万 (ボール 口笛等 表彰品等)